

平成28年度 第2回 蕨市立図書館協議会 会議録

開催日時 平成29年2月25日(土) 午前10時から11時54分まで

開催場所 蕨市立図書館 3階 会議室

議題 (1) 蕨市子ども読書活動推進計画について
(2) 蕨市立図書館の開館時間について
(3) 平成29年度事業計画及び予算案について
(4) 蕨市立図書館北町分館について
(5) その他

公開非公開の別 公開(傍聴人なし)

出席者氏名 <出席委員>

町田敏子委員、堀越孝男委員、蓮沼昌代委員、近江睦代委員、永井雅幸委員、
秋山廣紹委員、宮田ゆみ委員、岡本和子委員、田中京子委員、石丸祥子委員

<事務局：図書館職員>

小松館長、樋口館長補佐、菅谷奉仕係長

会議の内容 会議の主な内容については次のとおり。

館長補佐から開会し、館長あいさつ、会長あいさつ、前回会議録の承認、資料確認の後、議題に入る。

(1) 蕨市子ども読書活動推進計画について

奉仕係長が議題1資料の主な内容を説明し、質疑応答に入る。

委員：現計画の延長期間となる平成29・30年度の進捗状況の調査項目は、従来の調査項目に新しい項目を盛り込みながら進めていくという考えか。

事務局：今までの調査項目の推移を比較することも大切だが、ボランティア団体の活動状況等の項目を新たに加え、新計画の策定に向けた情報収集を図っていきたい。

委員：新計画策定時には、ぜひ蕨らしい特色あるものを取り入れていただきたい。

蕨市子ども読書活動推進計画について承認される。

(2) 蕨市立図書館の開館時間について

館長補佐が議題2資料の主な内容を説明し、質疑応答に入る。

委員：開館時間延長の試行については、将来的に実施することを前提として行うものなのか、あくまでも試験的に実施するものなのか。

事務局：近隣の図書館と比較すると、閉館時間が早いというご意見はいただいていることから、29年度については試行とし、予算面や人員配置等の精査、アンケートでの意見等を取り入れ、平成30年度には本格実施できるように取り組んでいきたい。

委員：もっと利用したいという意見はどのように聞いているのか。

事務局：生涯学習に関する市民意識調査の中で、意見をいただいている。また、来館者数を時間帯で集計すると、夕方の時間帯の来館者が多いことから、一定の効果はあると考えている。

委員：夏休みの初めから、開館時間を延長することはできないか。

事務局：開始時期はいろいろなパターンを考えたが、教育委員会をはじめ、いくつかの会議に諮ったり、市民へのPRを図ったりする時間を考えると、どうしても夏休みの終わりからの開始となってしまう点をご理解いただきたい。

委員：学校関係者として、小中学生の立場から考えると、小学生はこれまで同様に保護者同伴で利用することが考えられる。一方で、中学生は学校帰りに図書館に立ち寄ることが可能となるが、その点は、どのように対応されるのか。

事務局：子どもの安全安心を最優先に考え、これから中学校の先生方と話し合いながら、調整を図っていききたい。

委員：中学生の親の立場からすると、図書館で勉強して帰ってくるのであれば、ぜひ利用してもらいたいし、忙しい生活リズムの中で、本と触れ合ういいきっかけになるのではないかと思う。

委員：図書館から距離がある錦町では、どこの会合に参加しても、図書館のことが話題にならないので、周知を徹底してほしい。

事務局：広報紙やホームページでのお知らせや各小中学校への連絡をはじめ、子ども会や地域女性団体連絡協議会、高齢者クラブなど、さまざまな関係団体への周知を図っていききたい。

委員：分館の延長は考えていますか。

事務局：分館については、運営形態が違っていて、公民館内にあることから、公民館の管理規則等の関係もあるので、今回は本館のみの試行を考えている。

開館時間延長の試行について承認される。

(3) 平成 29 年度事業計画及び予算案について

奉仕係長が議題 3 資料の主な内容を説明し、質疑応答に入る。

委員：円形劇場の上にある窓ガラスから雨漏りがして、去年の台風時に絵本が濡れてしまったことがあると聞いたが、その修理の予算は組まれているのか。

事務局：ご指摘の円形劇場の天窗のほか、一般書側の天窗も併せて、トップライト漏水修繕として予算を計上しています。

委員：「としょかんたんけん隊」がとても楽しみです。利用者のいない図書館全館を利用できるとは、私も参加したいくらいです。宝探しなど行ったら楽しそうですね。

事務局：これまでは開館中の開催のため、探検とはいえ、どうしても利用者に配慮しながらの内容となってしまうことから、館内整理日に開催することで、子どもたちにもっと自由に探検してもらいたいというのが、そもそものきっかけでした。

委員：館内整理日に開催することで、参加人数ももう少し拡大できるのではないのでしょうか。

事務局：カウンター等の通常業務がないことから、これまでより多くの職員をこの事業に割り当てられると考えている。

委員：事業の周知について、公共施設を利用している人は限られているので、そのほかに、例えばスーパーや町会の掲示板など、人目に付きやすい場所にポスターを掲示してはどうか。

事務局：町会の掲示板については、周知方法の 1 つとして考えている。併せて各委員さんにも地元の地域での地道な PR をお願いしたい。

委員：ベビーベッドを撤去してしまうのは、どうも時流に反しているような印象があるのですが、ベビーベッドを設置している図書館について、何かデータはお持ちですか。

事務局：今はベビーベッド代わりに、多目的トイレにおむつ替えシートを設置している図書館が多くなっている。おそらくベビーベッドが置いてある図書館は、だいぶ前に設立されてから、リニューアル工事等もされていない図書館ではないかと考えている。また、代替施設として授乳等を希望する利用者には、スタッフラウンジを自由に使ってもらっているので、ベビーベッドの

撤去に合わせて、そうした案内を館内に表示する予定である。
平成 29 年度事業計画及び予算案について承認される。

(4) 蕨市立図書館北町分館について

館長補佐が概要を説明し、質疑応答に入る。

委員：北町分館で書架整理をしているが、縦置きのクーラーが設置されてから、クーラーの手前にある書架の絵本が傷んでしまっている。また、蕨市だけでなく近隣の川口市の中学生も利用することが多く、騒いでいたこともあったので、レイアウトが変更できるのであれば、空調設備や防犯面に配慮したレイアウトを考えていただきたい。

事務局：いただいたご意見の内容を確認しながら、体育館とも十分に調整を図ったうえで、防犯面を第一に、レイアウトを考えていきたい。

委員：北町分館のほかに、どこに分館があるのか、改めて紹介してほしい。

事務局：塚越の東公民館の 1 階に塚越分館、錦町の西公民館の 1 階に錦町分館があり、一般書、児童書、紙芝居を所蔵している。蔵書数はそれぞれ約 5,000 点くらいであるが、どちらもロビーの一角にオープンスペースとなっている。本館のように端末を置いていないので、台帳に利用者番号と資料番号を記入いただいて、貸出を行っている。また、いずれの分館にも返却ポストを設置している。なお、工事中の北町分館については、市立病院の救急入り口脇に設置しているほか、西口駅前交番隣のシルバー人材センターが入っているビルの 1 階にも設置している。

委員：分館にある本を予約すると、たまに見つからなかったと言われることがあったが、こうした不明本はけっこう発生しているのでしょうか。

事務局：分館は職員がいないので、どうしても不明になってしまうことがある。また、予約が入ってから、回収に行くまでの間に、その本が借りられてしまうと、その本が返却されるまでお待ちいただくこともある。

委員：本が無くなるということは、これは信用問題だとは思いますが、発生していないということですか。

事務局：ゼロではないが、多くもないと思っている。先日実施した蔵書点検では、現在集計中ではあるが、本館の未点検数は 1 %に満たない数字でした。

委員：以前、北町分館に仕切り（アコーディオンドア）が出来たときに、17 時で閉鎖されたことがあったが、今回のリニューアルではどうなるのでしょうか。

事務局：これまでどおり、公民館開館中は出入り自由となります。

委員：蕨の図書館は、靴を脱いで親子で一緒に絵本を読むスペースがないので、これから北町分館のレイアウトを考えるのであれば、そうしたスペースができたらいいなと思う。

(6) その他

会長から各委員及び事務局に確認し、その他に入る。

事務局：今回の会議録は、準備が整い次第、委員の皆さまに送付します。また、次年度の 1 回目の協議会は、7 月頃に日程調整のうえ開催するので、出席をお願いしたい。

委員：議題 2 とも関わる「蕨らしさ」ということで、例えば親子連れが多い図書館、高齢者でいっぱい図書館、会社帰りの社会人が多い図書館など、図書館によって利用者の特徴があると思うのですが、蕨市の利用者の特徴はどんなところでしょうか。

事務局：蔵書の比率としては、児童書が充実していることから、児童や親子連れの利用者を増やしていきたいと考えている。

委員：今後、試行で開館時間を延長した時には、例えば中学生の利用が増えたとか、全体の利用者数のほかに、どの年齢層の利用が増えたのかということも教えていただきたい。

また、新聞等で双子織やわらびりんごサイダーが取り上げられるなど、市でも蔵ブランドとして力を入れていることから、子どもたちの学習資料として活用できるように、蔵にしかない貴重な資料の収集に努めていただきたい。

事務局：学校での資料活用という点では、学校との調整をもっと図っていかなければならないと考えている。

委員：蔵は絵本や児童書の選書が優れていると思うので、今後も維持していただきたい。また、児童書に力を入れていきたいということでしたが、例えば起業をしたいという人がいた場合に、県立熊谷図書館ではビジネスコーナーが充実しているので、そうした県内の図書館の情報もご案内できるように対応していただけたらと思います。

委員：一中が 70 周年の時に、学校では昔の資料が見つからなくて困った際に、図書館の資料室を利用したことがあり、とても役立った。こうした地域の資料は引き続き収集を続けてほしい。また、蔵らしさという点では、アットホームな温かさが特徴だと思うので、そういった点を計画に盛り込んでいただけたらと思います。

正面の歩道から見える図書館の掲示板が寂しいので、ワーキングウィークで訪れる各校の中学生に作成してもらうなど、周囲の人を取り込んで、掲示板を充実してみたいかと思う。

委員：小中高生のための点字教室に通う子どもたちが作成した点字の絵本を活用したいのですが、潜在的な視覚障害者を把握することが難しいので、こうした絵本を図書館に蔵書としてではなく、何らかの形で紹介していただくことで、潜在的な視覚障害者に伝わるきっかけになるのではないかと考えています。

会長代理から閉会あいさつを行い閉会となる。